

社会福祉法人 SKY かわさき 令和 5 年度事業計画

1. 法人：事業方針

令和 5 年度事業方針：中期 3 年計画（令和 4 年度～令和 6 年度）の中間年。昨年度に引き続き、透明性、公益性を確保し、地域ニーズを確認する。体制整備を行い、経営基盤を安定させる。人材育成と世代交代。

2. 法人重点項目

(1) 透明性、公益性の確保と地域ニーズの確認

- ① ホームページなどによる情報開示(収支状況、苦情・事故報告など)に取り組む。
- ② 計画的に事業所ネットワーク会議を実施し、地域とのつながりを深め、地域ニーズを確認していく。

(2) 経営基盤の安定

- ① 事業再編を視野に、利用率の改善と加算の算定を可能にする体制整備を行う。
- ② 専門職非常勤を増員し、本部機能を強化する。
- ③ 会計クラウドを活用し、月次試算表（月次決算）を把握していく。

(3) 人材育成と世代交代

- ① 法人としての義務研修、会計研修、中堅研修、委員会研修などを計画的に実施していく
- ② 次世代を担う職員を育てる。委員会活動に関して主任会への権限移譲をすすめる。

3. 会議・委員会計画

1) 評議員会

定時評議員会として毎年 6 月に開催するほか、必要な場合に開催する。

2) 理事会

当法人の業務執行の決定、理事の職務執行の監督を行う。3 月ほか必要な場合に開催する。

3) 本部会議

事業、人事、労務、総務にかかわる事項を審議する。構成は各部長とし、原則月 2 回開催する。

4) 所長会

各事業所およびその他の事業について協議し、理事会議事の提案事項を起案する。構成は、各所長とし、原則月 1 回開催する。なお、所長会の分掌会議として以下の委員会を開催する。

(1) 安全管理委員会

各事業所における事故報告・ヒヤリハット等の報告事項を共有し再発防止について検討する。所長会が兼務する。

(2) 苦情解決委員会

各事業所における苦情等の報告事項を共有し再発防止について検討する。所長会が兼務する。

(3) 情報管理委員会

法人内における情報管理にかかる事項について検討する。所長会が兼務する。

(4) 特別委員会

きたのば有効利用を中心に新事業、本部活用を検討する。構成は部長を中心とし、月1回開催する。

5) 主任会

各事業所の活動報告を共有し、連携を図る。広報、普及啓発、研修、防災委員会報告事項を協議する。構成は各主任とし、原則月1回開催する。なお、主任会の分掌会議として、法人に設置が義務付けられた(1)～(3)および以下の委員会を開催する。

(1) 感染対策検討委員会

感染症の発生及びまん延の防止等に関する取組について検討する。主任会が兼務する。

今年度は研修会の開催、指針の作成、BCP（発生時の業務再開計画）作成を行う。

(2) 身体拘束等の適正化委員会

身体拘束等の適正化のための対策について検討する。主任会が兼務する。

(3) 虐待防止委員会

利用者の安全と人権保護の観点から虐待の防止とその適切な対応の推進について検討する。主任会が兼務する。

(4) 広報委員会

年2回の通信の発行及びホームページの更新を通じて、各事業所の取り組みを伝えるとともに、法人全体の活動を伝えていく。今年度の重点項目として、法人の活動がより外部に伝えられる内容となるよう、通信の構成見直しやHPの積極的な活用を検討する。

予算：250,000円

(5) 普及啓発委員会

地域とのつながりを深め、地域ニーズを確認していくため、法人主催のイベントや講演会等を企画する。今年度は令和6年度上期開催予定のイベントの企画・検討をすすめる。

予算：10,000円

(6) 研修委員会

法人全体で取り組む研修を開催する。今年度の重点項目として、次世代を担う職員を育てるため業務報告会と、職員の高関心の高いテーマの内容を行う。

予算：100,000円

(7) 防災委員会

法人内の防災訓練を継続しながら、適宜防災マニュアルの見直しを行う。また、委員会内に「BCP作成特別委員会」を設け、今年度末までに作成が義務づけられたBCPの作成を行う。

予算：60,000円

4. 事業別計画

1) 障害福祉サービス事業

(1) 共同生活援助事業所 ホーム SKY

- ① 入居者一人一人の個別支援の充実を図る。
- ② 自立生活をめざす入居者への支援とアイビーとの連携。
- ③ 高齢者をはじめ、入居者の健康に関する支援継続。
- ④ サテライト型ホームをカンタービレに増設。
- ⑤ これからのホームのニーズを探る。
- ⑥ 防災計画

- ・ 場所 あんじょうやりや、きらくや、すみれ すみれⅡ（多摩区登戸）、
ふらっと、みかんハウス（多摩区栗谷）、カンタービレ（麻生区百合丘）
- ・ 従事者人員 21名（所長・常勤8名、非常勤13名）
- ・ 入居者 40名（予定）
- ・ 費用見込額 109,599,647円

(2) 自立生活援助事業所 アイビー

- ① ホーム、他機関との連携をしながら、卒業支援のアフターケアを行う。
- ② 定期訪問、随時訪問他同行支援、緊急時連絡体制の確保、夕食サービス

- ・ 対象者 6名～8名予定
- ・ 費用見込み額 1,100,000円

(3) 就労継続支援B型事業所 はっぴわーく

- ① 受入れの幅を広げる為、利用の流れや養護学校卒業生の受入れ検討などを積極的に行う
- ② 時給増およびやりがいのある作業提供の継続を目的に各部門にて以下の取り組みを行う
 - A) 清掃部門・清掃業者とのつながりを作り、ステップアップできる仕組みを構築する
 - ・ 清掃工程を見直し、より分かりやすく少人数で清掃できる仕組みを検討する
 - B) 内職部門・単価の良い作業を開拓し、タイムリーに受託できるよう、環境整備を行う
 - ・ 職員の作業理解を深め、より利用者の特徴にあった作業指示を目指す
 - C) ジャム部門・梨の仕入れ先を増やし、梨ジャムの需要に応える
 - ・ フルーツソースの製品化及び、閑散期のキャンペーンに取り組む

- ・ 場所 川崎市多摩区登戸 2959
- ・ 従事者人員 7名（所長・常勤4名、非常勤3名）
- ・ 対象者定員 20名
- ・ 費用見込額 33,179,425円

(4) 就労継続支援 B 型事業所 があでん・ららら

- ① 設備面の改善をおこない、新規利用者の定着に繋げる。
- ② 事業の運営に利用者が直接関わられるような仕組みを作っていく。
- ③ 小学校をはじめとした地域資源との繋がりを拡げていく。

- ・場所 川崎市麻生区下麻生 3-32-5
- ・従事者人員 10 名（所長・常勤 3 名、非常勤 7 名）
- ・対象者定員 20 名
- ・費用見込額 34,206,233 円

2) 相談支援事業

(1) 地域相談支援センター ひまわり

- ① 障害種別や年齢等に関わらず、様々なニーズに対応、コーディネートできるような相談支援を提供する。
- ② 地区担当制の利点を活かし、他機関や地域とのネットワークづくりをすすめるため、地域の会合等に積極的に出向いていく。
- ③ 災害時における障害者の個別避難計画作成支援や、医療的ケア児者支援についても取り組む。

- ・場所 川崎市麻生区百合丘 1-20-7 白井ビル 2 階
- ・従事者人員 3 名（管理者・常勤相談支援専門員 3 名）
- ・対象者登録者 118 名
- ・費用見込額 20,128,682 円

(2) 相談支援事業所 かみひこうき

- ① 主に法人内事業所を利用している方の計画相談をおこなう。
- ② 区自立支援協議会へ参加し、地域ニーズを把握したり情報交換をおこなう。

- ・場所 川崎市多摩区登戸 2341-1
- ・従事者人員 3 名（所長、常勤 2 名）
- ・対象者 23 名（男性 12 名、女性 11 名）

3) 地域生活支援事業

(1) 地域活動支援センター きたのぼ

- ① 新規登録者増と定着を目指し、作業の見直しや知的障害や発達障害の方など対象を広げた受入れの検討、パンフレットの更新などをおこなう。
- ② 人や地域とのつながりを念頭に、事業所を越えた交流の機会を増やしたり、ボランティアの受け入れや地域とつながるイベント等、取り組む。
- ③ 「きたのぼお店化計画」に向けて、引き続きメンバーや関係者と意見交換をおこないながら地域の方に親しまれる拠点を目指す。玄関扉などハード面の改善、インスタ更新による認知度の向上など、メンバーと共にアイデアを出し合いながら実現を目指す。

- ・場所 川崎市多摩区登戸 2341-1
- ・従業者人員 4名（所長・常勤2名、非常勤2名）
- ・対象者 26名（男性2名、女性24名）
- ・費用見込額 15,753,631円

(2) 地域活動支援センター さくらスタジオ

- ① 社会参加の第一歩としての社会資源の役割を担う活動を継続する。
- ② 昨年度の特別委員会を受け、地域に向けた活動を企画、開催する。
- ③ 指定特定相談支援事業所の併設。

- ・場所 川崎市麻生区片平 2-29-1-B1
- ・従業者人員 3名（所長、常勤1名、非常勤1名）
- ・対象者 35名（男性9名、女性26名）
- ・費用見込額 13,164,176円

(3) 地域活動支援センター 紙ひこうき

- ① 定期的に活動費の執行状況を共有し、修繕積立など検討する。
- ② 個別支援の強化（個別支援計画とモニタリングの実施）と課題整理。
- ③ 地域ネットワーク会議を開催し、地域ニーズについて関係者と情報交換をおこなう。

- ・場所 川崎市多摩区登戸 2341-1
- ・従業者人員 4名（所長、常勤2名、非常勤1名）
- ・対象者 66名（男性35名、女性31名）
- ・費用見込額 17,071,345円（拠点区分かみひこうきとの合算額）

(4) 北部地域生活支援センター ゆりあす

- ① 精神障害のある人の地域拠点として、社会的ニーズ・地域ニーズを捉えた事業やプログラム、地域に開かれた活動の実施
- ② 障害福祉サービスに繋がっていない方へ向けた、訪問やオンラインを活用したアプローチ
- ③ 当事者の持てる力を活かしたピア事業の展開とピアサポーターの育成

- ・場所 川崎市麻生区百合丘 2-8-2 北部リハビリテーションセンター2階
- ・従業者人員 11名（所長・常勤6名、非常勤1名、ピアスタッフ4名）
- ・対象者 219名（男性116名、女性103名）
- ・費用見込額 38,668,591円